

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | | |
|---|---|-------------|
| (整理番号) 6 ※記入不要 | 提案機関名 | 農業振興課普及・経営班 |
| | | |
| 要望問題 農業機械に応じたほ場取り付け進入路基準の策定 | | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 昨年度、普及員研修（新技術研修）の課題として、県内のほ場進入路について取り付け道路とほ場の高さ、進入路の長さ、及び取り付け道路幅を調査し、これについて取りまとめ報告も出された（生研機構）。 しかしながら、農業機械に応じ、安全に進入・移動できる進入路の傾斜等の基準値について未設定なので、これについて主な農機の種類ごとに策定を要望する。 | | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="radio"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | |
| 研究対応区分 | <input checked="" type="radio"/> ①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他 | |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業総合研究所 ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ⑨自然環境保全センター | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | |
|---|--|
| 回答機関名 | 農業総合研究所 |
| 部 署 | 生産技術部 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) |
| 対応の内容等 農林水産省から公表されている「高性能農業機械等の試験研究、実用化の促進及び導入に関する基本方針」のなかで、主な農業機械について農道、進入路等の具体的な数値基準（高さ、幅員、勾配等）が定められています。 生研機構の調査は、この基準を裏付けし適切な進入路のあり方を提示する目的で行われているもので、現在調査研究（ヒューマンエラーバックアップシステムの開発 H12~16）が進められているところです。 | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 備考 | |